

【年末年始のお知らせ】
仕事納め 12月28日(金)
仕事始め 1月5日(土)
年末の事務処理は12月27日(木)まで
新年の通常業務は1月7日(月)より

建設長崎

December
No.642
2018年12月15日
1部20円 組合員の購読料は組合費に含ます
印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 <http://www.kensetunagasaki.org/> 発行責任者●田上一郎 編集人●若杉孝雄



建設国保の育成強化、就労環境の改善を

― 11・20 中央総決起大会 ―

建設労働者・職人の仕事と暮らしを守り、若者に魅力のある建設産業を目指し、建設国保の育成強化、就労環境の改善を訴える。全国より3、570名が結集。地元国会議員へ要請も行う。

来年度予算における建設国保の現行補助水準の確保や、賃金・単価の引き上げ、法定福利費の確保、仲間の仕事とくらしを守るための予算要求中央総決起集会が日比谷公園で開催された。会場となった、大音楽堂・小音楽堂には、四十九県連・組合、三、五七〇名

冒頭、吉田三男執行委員長は、「現在国会では、外国人労働者の新たな受け入れ策が検討されているが、建設産業の存続は担い手の

確保にかかっており、国内人材の育成・確保こそ最優先されなければならない。そのためにも、賃金・単価の大幅引き上げと法定福利費の確実な支給が必要である。」との挨拶があった。

勝野書記長は「国保組合への概算要求額が、現行水準見込めているのは、ハガキ要請行動の成果である。大手の企業では、最高額の利益を上げている。しかし、現場の職人には還元されていない。若者に入っていただけの建設業界にしよう。」という基調報告がありました。

集会終了後には、地元国会議員に対し、国民医療への公費助成の拡大・国庫補助金の現行制度の堅持および補助水準の確保・建設国保の育成、強化、といった内容の要請書を持って要請しました。

【要請先】
衆議院議員
西岡 秀子・加藤 寛治
谷川 弥一・北村 誠吾
富岡 勉氏
【参議院議員】
古賀友一郎・金子源二郎

【要請書】

建設国保の育成・強化を求める要請書
一、国民負担の増大に考慮し、国民医療への公費助成を拡充してください。
二、二〇一九年度の国保組合への国庫補助は、自然増を含む医療費の伸びを勘案して、現行制度の堅持および補助水準を確保してください。
三、国民健康保険の運営の主体は、今後とも公営国保と国保組合とし、建設国保を育成・強化してください。

長崎市長要請行動

11・7

仕事確保・賃金改善を求め、市長へ要望書手渡す



長崎市長へ要望書を手渡す北村会長

十一月七日、長崎市役所において、船津執行委員長、北村協会長他十五名出席の「中小建設業者・職人の仕事と暮らしの改善」に関して、①中小建設業への工事発注に関する要請②公共工事設計労務単価に見合う賃金の支払に関する要請③工事発注における適正単価の設定に

下、長崎市に対し「中小建設業者・職人の仕事と暮らしの改善」に関して、①中小建設業への工事発注に関する要請②公共工事設計労務単価に見合う賃金の支払に関する要請③工事発注における適正単価の設定に

野口、池田両市議も同席し、市側に協力するよう力強く訴えていただきました。北村会長から田上市長に要望書を提出。船津執行委員長が要請内容の趣旨を説明し、現場で働く中小建設事業者への配慮を要望した。田上市長は挨拶の中で、「市では昨年十月から四つの総合事務所と二〇の地域センターを設け、総合事務所管内での地区別入札発注を本年四月から開始した。また、最低制限価格率の設定方法の変更など入札制度全体についても見直しをしている。今後も適正な入札制度となるよう努力していきたい」と述べられた。

続けて、各担当者から要望内容に対して回答。工事発注については「市内業者優先発注し、可能なものに関しては分離・分割発注を行っている。平準化も早期発注や債務負担の活用を担当部局に促している」と回答。

工事発注における最低制限価格の引上げでは「国な



寺田副委員長の挨拶に始まり、労災事故で亡くなられた方に黙とうを捧げ、主催者を代表してのあいさつで、船津執行委員長が「長崎労働局では第十三次労働災害防止計画が出されており、事故件数・死傷者件数を具体的な目標値を設定して取り組まれている。建設長崎でも現場の安全・安心づくりのため更に安全対策に取り組む、皆様の協力を

各支部より推薦された五名に対する安全功労者の表彰では、船津委員長より表彰状が授与されました。次に、安全の誓いが小林支部長(佐世保北)より宣言され、参加者全員の拍手で採択されました。最後に田上副委員長のあいさつで閉会となり、現場での労働災害撲滅を改めて認識する大会となりました。

【労働安全功労員】 敬称略
眞弓 暁店
眞弓 達夫 佐世保中央
(有)駄道塗装
駄道 春美 佐世保東
長嶺建築
長嶺 博志 佐世保北
福田工務店
福田 敏幸 北松
松山建設
松山 矢市 平戸

県北地区労働安全推進大会

安全・安心な現場へ ―労働災害撲滅を誓う―

十一月九日(金)佐世保市労働福祉センターにおいて県北地区の労働安全推進大会が開催されました。

この大会は、「長崎・県央地区」と「県北地区」が交互に開催されており、今年度は県北五支部を対象に開催されました。

お願したい」と、事故の撲滅を改めて訴えました。記念講演は佐世保労働基準監督署の安全衛生課長 銀杏田氏より「建設業の労働災害防止対策等について」と題し、高所からの転落事故が命にかかわる重大事故につながるなどの事例を示しながら、特に足場・脚立並びに建設機械について詳しい説明がありました。

各支部より推薦された五名に対する安全功労者の表彰では、船津委員長より表彰状が授与されました。次に、安全の誓いが小林支部長(佐世保北)より宣言され、参加者全員の拍手で採択されました。最後に田上副委員長のあいさつで閉会となり、現場での労働災害撲滅を改めて認識する大会となりました。

【労働安全功労員】 敬称略

眞弓 暁店

諫早支部

初となる事務所開催



▲支部事務所にて

十一月十日(日)、今初めて諫早支部事務所にて住宅デーを開催し、梶熊、猿、猪、犬など多彩な作品の展示や、丸太を彫刻する北米発の木工芸彫刻のデモンストレーションを披露して頂き、見事なチェーンソー扱いにより三十分ほどで作品を作って頂くなど会場を盛り上げて頂きました。

また、今回も主婦会の方に多数ご協力を頂き、おにぎりや豚汁等の手料理を振

る舞って頂き、終了後の労をねぎらって頂きました。最後に今回の反省点として、今後の宣伝方法についての課題が残った住宅デーでした。

《参加者》 (敬称略)

木下 忠明	中村 太司
後田 博幸	山崎 貞博
上町 三男	高谷 義信
樋口 義雄	田崎 義光
石丸 久	曾根 豊次
辻 継則	前田 稔
森崎 晴茂	佐藤 茂幸
森田 友喜	坂本 妙子
高谷テル子	酒井 智子
辻 百合子	木下美那子
田崎多美子	石丸 順子
前田 一恵	渡辺智恵子
上町 和子	山口佳代子
村上 敏子	

中央支部

奉仕活動で組合をアピール



▲茂木地区ふれあい祭り

澄み渡る秋空が広がる十一月三日(土)文化の日、中央支部茂木分会では、「第十八回茂木地区ふれあいまつり」に協賛し、無料奉仕活動としての住宅デーを開催。

組合員・主婦会二十四名の十四名の方が参加し、包丁研ぎ・まな板削り・木工販売を行いました。十時開会のまつりに向け、九時前には会場となる茂木港ターミ

ナル駐車場へ集合しました。包丁やまな板を持った方々が「早く受付して」とばかりに既に並んで待つており、慌ただしく準備を済ませて早速受付開始。すると続々とお客さんが来場し、みるみる長蛇の列が。途切れることの無いお客さんに、まつり開始の十時の段階で来場者は百名を超え、受付も研ぎ手もまな板削りも大忙しです。皆さん休む間もなく作業を進めていきます。今年はいつものに比べるとお客さんの出足が早かったようで、十一時を過ぎたあたりからは落着きだし、受

さん方は交代でまつりを見に行ったりしていました。当日は日向にいと汗ばむくらい暖かく絶好の天気には恵まれ、来場者は昨年よりは若く少なかったようですが、地域に密着した住宅デーとして建設長崎をアピールすることが出来ました。

《参加者》 (敬称略)

太田 俊一	太田 寿俊
山口 龍志	山口 大志郎
山口 賢龍	大平 高好
本多 常秋	馬渡 鉄洋
福田 修	田森 勝
坂口 忠義	石橋 廣喜
山下 廣造	大石 直
馬場 秀行	下峰 憲人
山崎 増雄	中橋 安
田上 義高	太田 昌子
山口美佐江	馬場ヒロ子
新井田圭子	太田 麻美

ものづくりの面白さを子供達にアピール



▲万能腰掛けづくりに挑戦

長崎県の技の祭典「技能まつり2018」が十一月十一日長崎市浜町ベルナード観光通り開催され、県内の技能士会団体や工業高校、大学のグループなど十五の団体が出展し、ものづくりの楽しさ・面白さをアピールしました。

近年、若者のものづくり離れが見られる中、技能の継承や後継者育成、さらには若年者が技能を身近に体験することで「ものづくり」の魅力を伝えることを目的に、毎年行われてい

ます。建設長崎からは、長崎技能士会として参加。市内支部より八名の組合員さんにご協力頂き、例年、予約殺

到の「万能腰掛け」を作成しました。参加した子供達は組合員さんのアドバイスのもと、金槌やインパクトドライバを使って、頑張

って技能体験に取り組みました。今年も大好評で、多くの幼児・小学生に体験して頂き、腰掛け四五組を作成しました。

長崎技能士会の北村会長は、後継者不足の現状を踏まえ、「子供達の遊び心が育ち、ものづくりの面白さに目覚める機会となつてほしい。最近では女性の木工も増えてきている。力仕事というイメージもあるが、機械も進化しているので、是非、女性の入職も期待したい。」と話していました。

佐世保東支部では、十一月十一日(日)に「わくわくふれあい市」で、十八日(日)に「どろんこの里」にて、それぞれ住宅デーを行いました。わくわくふれあい市での開催は今回で六年連続とな

り、近隣住民の方はもちろん、遠方から来られていた方もいました。当日は肌寒

い中、受付時間より前に並んでいた方もおられ、急いで準備を行い、予定より早く作業を始めました。会場は直売所の駐車場を

お借りしており、買い物終り、遠方から来られていた方もいました。当日は肌寒

い中、受付時間より前に並んでいた方もおられ、急いで準備を行い、予定より早く作業を始めました。会場は直売所の駐車場を

お借りしており、買い物終り、遠方から来られていた方もいました。当日は肌寒

《参加者》 (敬称略)

十一月十一日	十一月十八日
茅原喜志男	長島 則行
長島 則行	小谷 守
小谷 守	迎 勉
丸田 勉	大庭 真八
迎 政博	丸田 勉
佐古嘉津之	田中 光輝
枝折 春紀	真木 洋和
浦 福末	倉富 辰美
浦 勝実	佐古嘉津之
浦 輝久	安藤 清
駒道 春美	山崎 洋一
森 榮三郎	松延 貴男
松延 貴男	城戸 行誠
城戸 行誠	迎 良則
柳 光輝	田川 博則
丸田 政洋	田中 和樹
	茅原 喜人
	川端 昭吾
	深見 喬太
	三根 康恵

▲わくわくふれあい市会場



▲どろんこの里会場

西彼支部各分会住宅デー

「一心不乱に砥ぎあげ、地域へ貢献」

琴海分会

「全体三七四本
砥ぎ上げる」

西彼支部・琴海分会では、去る八月十九日(日)にJA長崎せいひの各三カ所(村松営業所・琴海支店・形上出張所跡地)で住宅デーを開催しました。

これまで同様に琴海町内放送で開催告知のアナウンスを行い、包丁三三〇本、カマ・ナタ・ハサミ四四本が寄せられました。例年と同じくらいの本数でしたが、琴海支店での砥ぎ手が少なく、形上出張所跡地側の方から応援に行ってもらったなど、お互い協力しあい、お陰様で無事に終了することが出来ました。

(徳永)

時津連合分会

「一〇九本の包丁を
チエック」

西彼支部・時津連合分会では、去る九月二日(日)に時津町ウォーターフロント公園で住宅デーを開催しました。

日頃からの組合員によるお客さんへの口コミや九月第一日曜に開催するということが定着しており、全部

(中尾)

長与連合分会

「大きな鎌を
砥ぎ上げる」

西彼支部・長与連合分会では、去る九月九日(日)、長与みかん撰果場で住宅デーを開催しました。

農業をされてる方が多い土地柄、包丁だけではなくナタやハサミも例年多く見かけますが、今年は大きな鎌を持って来られた方がお

(脇川)

《参加者》

(敬称略)

徳永 八郎	道平 政文
岸川久美男	森 進
井手 吉一	浦 勝彦
岑山 義徳	西山 恒頭
松山 義廣	今里 正吉
岩下 孟	角崎 豊
小山 哲男	太田 正利
小野田国夫	吉田 隆
山中 茂	相川 守
廣瀬 茂樹	相川 雅彦
松尾 孝	前尾 辰美
相川 哲男	相川 一吉
北村 政和	岩崎喜三郎
井手 一男	川原 昭彦
中尾 豊	田上 一郎
船津 栄市	

《参加者》

(敬称略)

浦馬場幾男	中尾 豊
井手 保	高木栄八郎
川久保博幸	川林 満
松本 文男	濱本 勝之
松野 春男	林田 浩治
山口 俊一	中村 正博
田口 繁美	脇川 雅隆
岩崎喜三郎	古藤 明義
岩永 亀雄	嶋本 清孝
堀口 留喜	山中 茂
濱本 久枝	
船津 栄市	石田 哲雄

《参加者》

(敬称略)

岩崎喜三郎	脇川 雅隆
古藤 明義	山口 政好
岩永 亀雄	石川 明文
溝上 智志	脇川 大奨
岩木 信義	毎熊 明夫
嶋本 清孝	佐舖 洋
小串 民雄	濱本 孝博
井手 保	中尾 豊
中村 秀徳	山中 茂
宮城 忍	松川 博幸
松林 敏	田中 淳彦
岡崎アイ子	石川 香
松川由美子	
田上 一郎	

島原支部

GAMADAS

まちづくり・住まいづくりフェア

「木工教室と包丁研ぎを実施」

十一月十一日(日)、澄み渡る秋空の下、島原市平成町がまだすドームにて「第二十五回GAMADASまちづくり・住まいづくりフェア」が開催されました。

今回は二年ぶりの住宅フェアとなりましたが、隣

接する会場で「島原半島ジオ・マルシェ」という島原半島の食をテーマにしたイベントが開催されており、そのおかげで多くの人で賑わいました。ちなみに、木工教室は大盛況で、すのこは完売しました。

今回の反省を踏まえ、次回以降はもっと多くの方に来て頂けるよう、広告宣伝にも力を入れたいと思います。

島原支部は毎年木工教室を行っており、すのこ作りでしたが、今回の住宅フェアは多くの来場者が予想された為、建設長崎をアピールするチャンスと考え、数年ぶりに包丁研ぎを実施することになりました。

他支部の諸先輩方から包丁研ぎの要領を教わり、受



朝から夕方まで長時間ご協力頂きました皆様方、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

島原支部主婦会

「フラワーボックス講習会」

「自分だけの一品を作成」

十一月九日(金)十四時講師を招き、主婦会八名の参加でフラワーボックス講習会を開催しました。

材料はすべて百均で調達。

①正方形のボックスの大きさに合わせてオアシスを切り敷き詰めていきます。

②メインになる大きめの花を三個選び茎を三センチ位の所で斜めに切り

(どの花も同じようにに茎を切ります) ボックスに斜め又は、端に三角形を意識して挿し中心を決めます。

③中サイズの花をサブとしメインの花の周りに対角線上に挿します。



国保だより

保険証更新における大切なお知らせ

「扶養認定には証明書類が必要」

長建国保に加入する家族

(被保険者) の方の加入要

件は、組合員の収入によりその世帯に属するご家族の生計が維持されていることを基本としています。このことから、資格取得時や年に一度の保険証の更新の際、ご家族の現況、並びに収入の有無等につきまして証明書類により資格の確認をさせていただきます。

◆ 証明書類の提出をお願いします。

○ 勤務先の賃金支払(見込) 証明書

○ 組合員の所得控除(配偶者控除)「扶養控除」を受けている場合は、当該組合員の確定申告書の写し

○ 民生委員による確認書(組合員の申立事項に対する事実確認)

○ 在学証明書、又は学生証の写し(来春大学等に入

学される場合は入学後に在学証明書を提出して下さい。)

○ 施設等の在所証明書

※年間収入(給与や年金等)が百三〇万円(六〇歳以上は百八〇万円)以上ある(又は見込まれる)場合は、扶養認定ができません。

※証明書記載内容等によっては加入要件に該当しないため、扶養認定ができない場合があります。

「訂正のお詫び」

平成三〇年一〇月号第二面に記載しました「保険証更新における大切なお知らせ」記事の中で次の通り誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。誠に申し訳ありませんでした。

(誤) ◆保険証の更新の際には家族被保険者(高校生以下)に係る次のいずれかの書類をお持ち下さい。

(正) ◆保険証の更新の際には家族被保険者(高校生以下の方を除く)に係る次のいずれかの書類をお持ち下さい。

※詳細につきましては、別途ご案内予定の案内書にてお知らせさせていただきます。

「組合指定温泉施設の名称及び料金変更のお知らせ」

平成三十年十二月より、

「天然いさはや温泉 和スパ」の店名が、「天然温泉 & ホットヨリ 諫早もの湯」に改称されると共に、

大人(中学生以上)の規定料金が七〇〇円から六五〇円に変更されました。

これに伴い、利用者負担額が四〇〇円から三五〇円となります。

※大人(中学生以上)のみ変更、小人(四歳以上)の変更はありません。



2018年の主な出来事



1月 旗開き



建設長崎新春旗開き 5日
各支部旗開き 12日～26日
中小建設業協会新春研修会・交流会 19日
本部主婦会新年のつどい 26日
各税務署交渉 22日～24日

2月 応急木造仮設住宅協定式



所得税申告受付
応急木造仮設住宅協定式 15日
全建総連青協第57回定期大会 18日～19日
各支部賃金活動者会議 19日～3月1日
長建国保第96回組合同 27日

3月 総決起集会



消費税申告受付
長建国保保険証検認受付
建設業許可変更届受付(個人)
所得税一括申告 14日
建設長崎3・23総決起集会 23日

4月 ソフトボール大会



支部対抗ソフトボール大会 22日
長建国保就労調査開始
新入学お祝共済金支給

5月 メーデー



労働保険年度更新受付
第89回メーデー 1日
九地協青年部交流集会 20日～21日
本部青年部清掃活動 27日
佐世保市役所要請行動 30日

6月 青年部大会



国保概算要求はがき要請
九地協企業交渉 7日～8日
全建総連全国主婦交流集会 14日～15日
増税反対街宣行動 18日～19日
青年部大会 26日

7月 定期大会



本部主婦会総会 11日
建設長崎第73回定期大会 15日
(一社)中小建設業協会第6回総会 20日
職長教育 21日～22日
長建国保組合同 30日

8月 原爆殉難者慰霊祭



原爆殉難者慰霊祭 8日
浦上川万灯流し 9日
各支部大会の開催 20日～9月14日
諫早市長要請 22日
県央振興局要請 22日

9月 住宅デー



各支部住宅デー開催
全建総連青年技能競技大会 15日～17日
長建国保臨時組合同 28日

10月 大運動会



諫早プラチナ友の会 10日
第59回全建総連大会 17日～19日
組合同・家族慰安大運動会 21日
総合住宅フェア 27日～28日
長崎県知事要請行動 30日
本部主婦会日帰り研修会 30日

11月 長崎市長要請



長崎市長要請行動 7日
県北地区労働安全大会 9日
技能まつり 11日
長崎プラチナ友の会 15日

12月 国保予算要求行動



国保予算要求行動
各支部忘年会開催
規矩術講習会 9日
仕事納め 28日

お知らせ

組合窓口は、これまで第2・第4土曜日をお休みとしていましたが、平成31年4月より全ての土曜日をお休みとさせていただきます。

それに伴い、平日(月)～(金)の業務時間を20分延長して下記の通り変更致します。

【※AM8:50～PM5:30】
ご理解の程、宜しくお願い致します。



ほとんどの方が昨年に引き続き参加して頂いており一年ぶりに会った方もいてお互いに「年に一回、ここで会うのが楽しみ」と再会を確かめ合っていました。和やかで楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいい「来年もまた参加して会おうね」と、名残惜しんで盛会裏の内に終了しました。引き続き二次会の打合せをしていた方もいて、元氣いっぱい先輩方に終始圧倒されたプラチナ友の会忘年会でした。



皆様、元気いっぱい!! プラチナ友の会

じいど会つのが楽しみ

十一月十五日(木)午後六時から中央総支部・浦上総支部合同で毎年恒例になったプラチナ友の会忘年会を「サンプリエール長崎」で開催しました。
プラチナ友の会は、七十才以上の先輩組合員さんを対象に、年に一度顔を合わせて互いに親睦を深める事
船津執行委員長の挨拶の後、恒例の記念撮影を行い、テール毎に自己紹介を行い、先輩皆様を代表して元執行委員長の前田富雄先輩の乾杯の音頭で始まりまし
た。